

オレンジ通信 ～地域でともに～

Vol.1



日に日に秋の深まる季節となりましたが、皆さまいかがお過ごしでしょうか。

私は、健康対策課 生活相談室で、認知症地域支援推進員をしています看護師の濱田です。認知症になっても地域で安心して暮らせるよう、認知症に関する相談支援や認知症の正しい理解と啓発活動、認知症の人やその家族を地域で支える仕組み作り等に取り組んでいます。

認知症について知りたいこと、困っていること等がありましたら、推進員へご相談ください。

＜南部箕蚊屋広域連合職員研修会

「若年性認知症 ～楽しく、前向きに、希望を持って～」を開催して＞

推進員として初めて研修会を企画し、認知症の当事者のお二人からお話を聴く機会を持ちました。お二人からは、

- 認知症になってみなければ分からない。
- 認知症になって人に対する優しさを感じるようになった。自分の喜怒哀楽の頂点が伸びたような気がする。
- 同じ症状の人と話すとき分り合える。ゆっくりと聴くことができる。
- 幅広く受け入れてもらう場所を作ってもらいたい。
- 肩の力を抜いて地域に合ったものをしてもらいたい。

など、力強いメッセージをいただきました。

私たちの地域でも、当事者同士が安心して集い、出会える活動の場所が大切だと改めて気づくことができました。今回の学びを今後の活動へと繋げていきたいと思います。

地域でともに！（濱田 辰美）

問い合わせ先 健康対策課 生活相談室 TEL 0859-68-5535

ほうき てびネット だよ

溝口小学校のまつむし草が開花

溝口小学校の学校支援ボランティア活動は、今年も新型コロナウイルス感染拡大防止のため、3密回避が困難なくつかの事業を中止しました。

その中で、昨年から4年生が取り組んでいる「桧水高原でのまつむし草の植栽」の苗作りは、暑さ対策で置き場所を変えたところ、ほぼ100%順調に育ち、10月の植付けを待ただけとなりました。

秋を迎え、桧水高原のまつむし草の花の便りも聞こえてきました。昨年、子どもたちは花が増えれば蝶も増えることを学びました。この頃は桧水高原に散策に訪れる人も増えているようです。

桧水高原に自生していたまつむし草は、ほとんど見られなくなりましたが、まつむし草の復活に、地域の先輩方が永年取り組まれ、少しずつ増えています。この取組が、子どもたちのふるさと作りとして長く続いていけば良いと思います。

昨年、小学校の正門近くに植えたまつむし草も可憐な薄紫の花を咲かせました。ご来校の際にぜひご覧ください。

問い合わせ先 溝口小学校 TEL 0859-62-6011

